

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48' 17"		
				経度	137° 32' 27"		
堀田高橋 (フリガナ)ホツタカハシ		村道第29号線	王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
王滝村	2016.10.18	河川	有	一般道	三次	上水道-王滝村	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				株式会社 長野技研		点検責任者		吉原潤一		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類		措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	径間2 主桁 01 写真-33						
	横桁	I								
	床版	II	床版ひびわれ	径間2 床版 02 写真-45						
下部構造		II	ひびわれ	径間2 下部工 02 写真-51						
支承部		I								
その他		II	舗装:凹み	径間2 舗装 01 写真-60						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録				措置後に記録			
(判定区分)	(所見等) 主桁に腐食、床版、下部構造にひびわれが生じている。			(再判定区分)		(再判定実施年月日)	
II	予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。						

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
1975年	56m	4.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 33</p>  <p>径間 2 主桁 01 腐食</p>	<p>写真 45</p>  <p>径間 2 床版 02 床版ひびわれ</p>
下部構造【判定区分: Ⅱ】	下部構造【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 49</p>  <p>径間 2 下部構造 01 剥離・鉄筋露出</p>	<p>写真 51</p>  <p>径間 2 下部構造 02 ひびわれ</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>写真 60</p>  <p>径間 2 舗装 01 路面の凹み</p>	
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>